

「新たな計画」策定の中間報告会 次第

日時 令和6年9月7日（土）午前10時から正午まで

場所 東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」

- 1 挨拶
- 2 経過報告
- 3 会場とのフリートーク



【村から総合計画審議会へ
「新たな計画」策定を諮問】

山田村長（写真左）

伊藤総合計画審議会委員長（写真右）

【経過報告】(主なもの)

日付	内容	備考
令和6年2月24日	総合計画策定キックオフミーティング	山田村長「新たな村政運営のチャレンジについて」 伊藤委員長「変化の激しい時代に求められる経営」
令和6年7月1日	総合計画審議会委員委嘱	委員10名 「若返りを目指しながら、行政経営（運営）、人口減少対策、少子高齢化、デジタル化など、まちづくりに係る主要な問題を広く議論できるメンバーによる構成」
令和6年7月8日	第1回東海村総合計画審議会	委員長・副委員長選出のほか、諮問を行い、新たに取り入れる内容（ミッション・ビジョン・バリューの考え）や基本的な事項（全体構成・体系・取組）を議論
令和6年7月13日、 8月3日	タウンミーティング（1セット目）	まもり、創る、次代を見据えたまちづくり ～ 新たな総合計画づくり ～
令和6年8月28日	第2回東海村総合計画審議会	ビジョン案についてより踏み込んで議論
令和6年9月7日	中間報告会	本日
<今後の予定>		
タウンミーティング（2セット目）		第3回総合計画審議会
パブリックコメント		答申

諮問

東海村諮問第2号
令和6年7月8日

東海村総合計画審議会 殿

東海村長 山 田 修

新たな総合計画の策定について（諮問）

少子高齢化，人口減少，デジタル化等，まちづくりに係る環境が劇的に変化しているなか，「ミッション・ビジョン・バリューの考え方を取り入れる」「簡素でわかりやすく，「柔軟」な計画とする」「指標の設定と広聴等を強化する」「総合計画の的確な運用を目指す」という新たな発想と展開を取り入れた総合計画の策定に当たり，貴審議会の意見を求めます。

新たな総合計画（仮称）の全体構成

- 新たな総合計画（仮称）は、ミッション・ビジョン・バリューの考え方を取り入れ、簡素でわかりやすく、柔軟な計画とします。
- 新たな総合計画実現のための取組として、「重点政策パッケージ」を設け、メリハリのある行政運営を行います。
- また、近年注目を集める幸福度に関する指標の設定を行います。

項目

主な内容

はじめに

- ・ 時代の変化に対応し、持続可能な本村を目指していくため、総合計画は劇的に変えることの宣言

総合計画をなぜかえるのか

- ① これまでの総合計画
- ② 激変する社会環境
- ③ これから求められる総合計画

- ・ 総合計画の位置づけと、これまでの構成
- ・ 新型コロナウイルス感染症や地球沸騰化、能登半島地震等、国内外の急激な情勢変化によって変化が求められていることへの言及
- ・ 現行計画の施策評価結果や、キックオフミーティングの内容等を踏まえ、これから求められる総合計画像

新たな総合計画の基本的な事項

- ① 新たな総合計画の名称
- ② 期間
- ③ ミッション・ビジョン・バリュー

- ・ **新たな総合計画（仮称）の名称** *今後検討の上で決定。
- ・ 計画の期間（5年）
- ・ 新たに設定した「**ミッション・ビジョン・バリュー**」の考え方の説明

新たな総合計画の体系図

- ・ 基本的な考え方を踏まえた体系図

新たな総合計画実現のための取組

- ① 目標の体系
- ② 重点政策パッケージ
- ③ 幸福度の向上

- ・ 体系図に沿った目標の体系
- ・ 新たな総合計画実現のための重点政策パッケージ
- ・ 重点政策パッケージを通じた幸福度の向上への取組

新たな総合計画を通じた本村の将来像

- ・ 新たな総合計画を通じて実現される本村の将来像

今後の推進体制と管理

- ・ 庁内、庁外の推進体制、広聴等に関するスケジュール等

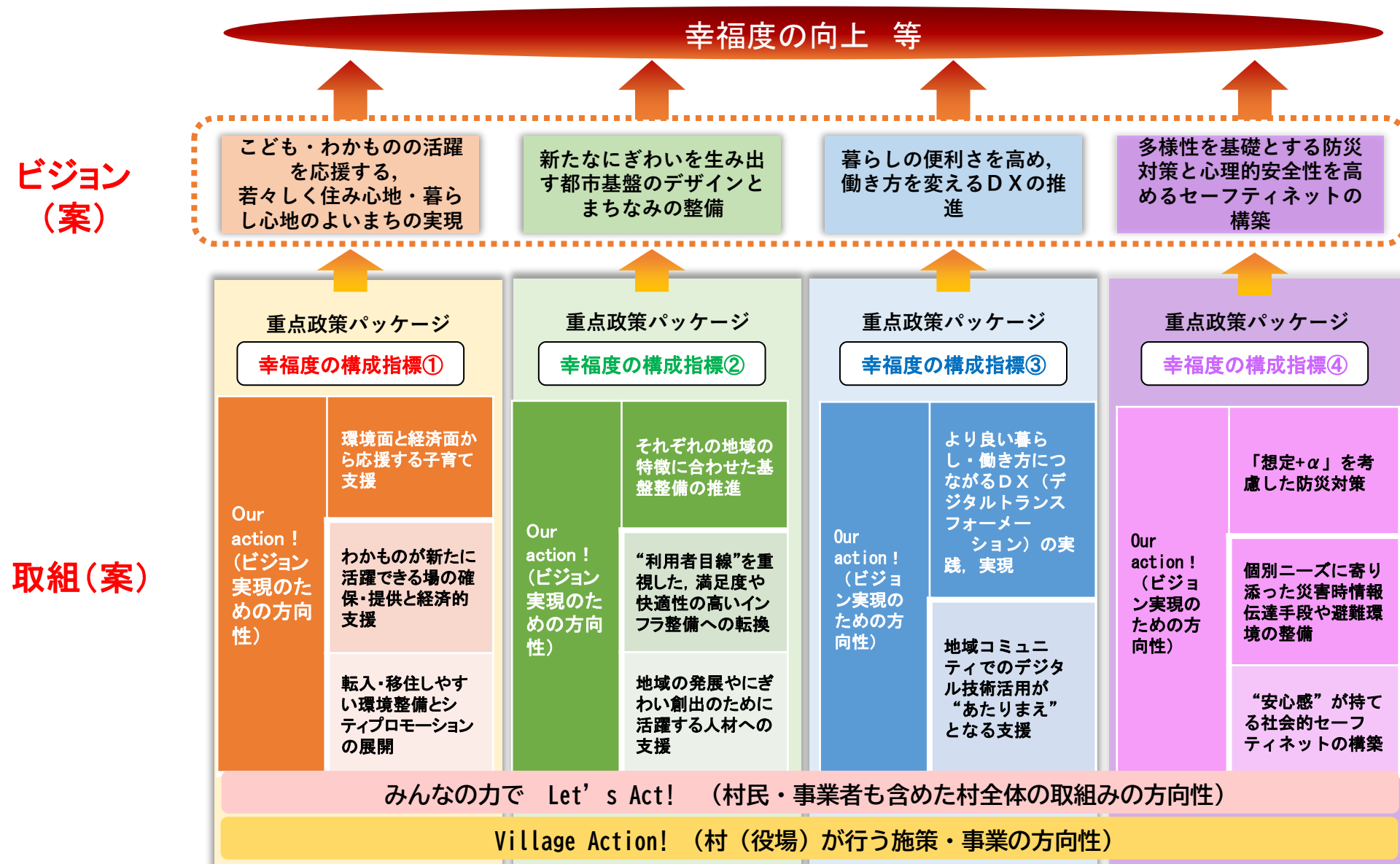
「ミッション・ビジョン・バリュー」について

- 「ミッション, ビジョン, バリュー(これらを総称して「MVV」という。)」の概念は, 社会の中での組織の存在意義を示すもので, 組織の構成員にとって仕事をする上で拠り所となるもの。
- ミッション, ビジョン, バリューの定義は様々であるが, 例えば下記の表のような言葉で整理できる。
- さらに, ミッション, ビジョン, バリューが共有されるためには, 理解しやすい言葉によって言語化されることが必要となる。

概念	【Mission】ミッション (what/why)	【Vision】ビジョン (what/where)	【Value】バリュー (how)
内容	• 社会の中での役割, 存在意義。何のために存在しているのか。 • 組織が果たすべき使命や任務。何を達成したいのか。	• 組織が中長期的に目指すゴール, 将来像, ありたい姿。 • ミッションを実現していくためのマイルストーン。	• 組織の構成員が共通して持つ価値観。 • ミッションを実現していくために規範となる具体的行動。
本村の定義	• 村が果たすべき使命・目的 不変	• 村が組織として実現したい未来・将来像中期的な目標 可変	• 住民・企業・行政等が持つ行動基準・思考や行動の指針 不変
案	ひとり おも 一人ひとりの“想い”をつなぎ だれ しあわ 誰もが“幸せ”になれる「いいム つく ラ」を創る	• 次頁以降で示します	• 語り合い 通じ合う心を大切にします。 • 共に挑戦し創り上げる心を大切にします。 • 今と未来のためにみんなが行動します。

ビジョン案

- 各ビジョンを達成するための重点施策・事業群で構成される「重点政策パッケージ」を設けます。
- 目標とする指標には、近年注目を集める幸福度 (Well-being) 指標を活用し、村民幸福度の向上への寄与を目指します。



ビジョン案① テーマ「人口減少対策」

こども・わかものの活躍を応援する、 若々しく住み心地・暮らし心地のよいまちの実現

《 重点政策パッケージ 》

地域幸福度（Well-Being）指標の構成カテゴリー ① 子育て / ② 多様性と寛容性 （※）カテゴリーは今後検討

Our Action ! >>

ビジョン実現のための方向性

- ◆ 環境面と経済面から応援する子育て支援
- ◆ わかものが新たに活躍できる場の確保・提供と経済的支援
- ◆ 転入・移住しやすい環境整備とシティプロモーションの展開

みんなの力で Let's Act !

村民・事業者も含めた村全体の取組みの方向性

- 1 地域・事業者とともに子育てをサポートする機運・体制の構築
- 2 わかものの活躍を後押しする機運の醸成と経済的な支援
- 3 東海村に住みたいと思える「働く場」「ネットワーク」, 「帰る場」の提供

Village Action !

村（役場）が行う施策・事業の方向性

- 1 こども・わかもののライフステージに応じた支援の実施
（幼少期：経済的支援ときめ細やかな相談・助け合い体制を両輪とした「伴走型」支援）
（小学期：全てのこどもの体験や成長を平等に支援する「応援型」支援）
（中学期：スポーツや芸術等の興味・関心を見つけ、高める「発展型」支援）
（高校期～：“やりたいこと”や“夢”の実現のための挑戦を後押しする「プラットフォーム」の提供）
- 2 転入・リターンを促進するための経済的誘導策の拡充と住環境確保支援

新たなにぎわいを生み出す都市基盤のデザインとまちなみの整備

《 重点政策パッケージ 》

地域幸福度（Well-Being）指標の構成カテゴリー ① 遊び・娯楽 / ② 公共空間 （※）カテゴリーは今後検討

◆ それぞれの地域の特徴に合わせた基盤整備の推進

Our Action ! >>

ビジョン実現のための方向性

◆ “利用者目線” を重視した、満足度や快適性の高いインフラ整備への転換

◆ 地域の発展やにぎわい創出のために活躍する人材への支援



みんなの力で Let's Act !

村民・事業者も含めた村全体の取組みの方向性

- 1 それぞれの地域の特徴に合わせた基盤整備に向けた機運醸成
- 2 今後の地域活性化へ向けた「対話」の促進



Village Action !

村（役場）が行う施策・事業の方向性

- 1 国道の4車線化に伴う、村松・石神地区の新たな地区別計画の策定や規制の緩和
- 2 人々の交流促進や利便性向上を目指すまちなかのリデザイン
- 3 コミュニティセンターの地域活動拠点化に向けた新たな整備

暮らしの便利さを高め、働き方を変えるDXの推進

《 重点政策パッケージ 》

地域幸福度（Well-Being）指標の構成カテゴリー ① デジタル生活 / ② 地域行政 （※）カテゴリーは今後検討

Our Action ! >>>

ビジョン実現のための方向性

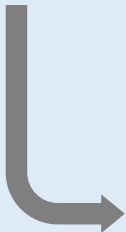
- ◆ より良い暮らし・働き方につながるDX（デジタルトランスフォーメーション）の実践，実現
- ◆ 地域コミュニティでのデジタル技術活用が“あたりまえ”となる支援



みんなの力で Let's Act !

村民・事業者も含めた村全体の取組みの方向性

- 1 デジタル・ディバイド（情報格差）の解消へ向けた啓発の継続と技術的支援
- 2 デジタル化の加速へ向けた地域コミュニティにおける機運醸成と理解促進



Village Action !

村（役場）が行う施策・事業の方向性

- 高度化する情報化社会に対応するインフラ整備の促進
- 生活利便性向上のための新しいシステムの導入
- 役場来庁者の利便性と満足度を高める窓口・オフィス改革の実現

多様性を基礎とする防災対策と心理的安全性を高める セーフティネットの構築

《 重点政策パッケージ 》

地域幸福度（Well-Being）指標の構成カテゴリー ① 自然災害 ／ ② 事故・犯罪 （※）カテゴリーは今後検討

Our Action ! >>

ビジョン実現のための方向性

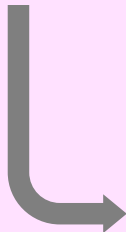
- ◆ 「想定+ α 」を考慮した防災対策
- ◆ 個別ニーズに寄り添った災害時情報伝達手段や避難環境の整備
- ◆ “安心感”が持てる社会的セーフティネットの構築



みんなの力で Let's Act !

村民・事業者も含めた村全体の取組みの方向性

- 1 多様な場面や人を想定した、リアリティを重視した避難訓練等の実施
- 2 見守り、声掛けなどの「助け合い」の大切さを再認識し、地域の安全・安心力を高める。



Village Action !

村（役場）が行う施策・事業の方向性

- 1 環境変化に応じて常にアップデートする防災対策の推進
- 2 多様な手段を活用した災害時情報伝達手法の確立
- 3 「原子力発祥の地」としての原子力防災・教育・広報の実施
- 4 一人ひとりが安心できるくらしの確保と誰もが支え合える新たな場の創出